

# Kominkan (公民館) サミット in Okayama



## - 地域づくりとESD推進 -

岡山では、ESD(国連持続可能な開発のための教育)のモデル地区として持続可能な社会作りに向けて、公民館を中心とした教育・学習活動が盛んに行われています。経済と環境、社会、文化の調和が重視される今日の社会のあり方に対応した形で、公民館活動の運営に携わる人材の育成とカリキュラムの開発が必要とされています。

一方、アジア各国には非識字者に対して識字教育を提供すると共に、住民を中心とした地域づくりの場となっているコミュニティ学習センターがあり、運営支援を行うUNESCO等の関係者の目が、60年の歴史を有する我が国の公民館に向けられています。

岡山大学大学院環境学研究科は、2007年4月にユネスコチェアプログラム(持続可能な開発のための教育と研究)が認証されたことを受けてKominkanサミットを企画し、公民館を中心とした持続可能な社会作りの教育と研究に貢献していく予定です。

### 概要

日時：2007年10月27日(土)～11月3日(土) 第19回生涯学習フェスティバル(まなびピア2007) 参加事業  
 場所：岡山大学自然科学研究科棟2階大会議室 他  
 主催：岡山大学、(特活)岡山県国際団体協議会(COINN)

### 主な日程 (一般公開分)

日時	予定	場所
10月27日(土)	9:30 開会式 10:30 基調講演 「公民館の歴史とアジア太平洋地域への活用」 笹井宏益 国立教育政策研究所(NIER)生涯学習政策研究部総括研究官 「アジア太平洋地域における識字教育の課題とコミュニティ学習センターの現状」 Darunee Riewpituk ユネスコ継続教育専門官 12:00 閉会	岡山大学自然科学研究科棟2階大会議室
10月28日-11月2日	専門家会議・生涯学習フェスティバル参加	
11月3日(土)	13:30 シンポジウム 開会の挨拶 基調講演 「生涯学習社会に向けた公民館の役割 - アジア太平洋地域の視点から -」 大安喜一 ユネスコ識字専門官 特別講演 Prateep Unsongtham-HATA ドゥアン・プラティーブ財団 パネルディスカッション コーディネーター 大安喜一 ユネスコ識字専門官 阿部宏史 岡山大学ユネスコチェア・チェアホルダー パネリスト Darunee Riewpituk ユネスコ継続教育専門官・コミュニティ学習センター担当者 Prateep Unsongtham-HATA ドゥアン・プラティーブ財団 出口寿久 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課ボランティア活動推進専門官 杉村洋子 岡山市立京山公民館館長(大学婦人協会岡山支部) 村上英己 全国公民館連合会事務局次長 森 良 ESD-J 理事	

持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development: ESD)：UNESCOや国連大学が地球レベルで推進している取り組み。2005年から「国連・ESDの10年」が始まっています。岡山地域は国連大学よりESDの地域の拠点に認定されています。

岡山大学は、UNESCOから、「持続可能な開発のための研究と教育」の拠点としてユネスコチェア(冠講座)の認証を2007年4月に受けました。地域レベル・国際レベルで、大学間連携や、民間団体や行政、教育機関との連携を通じて、持続可能な社会作りに資する人材を育成することがその目的となっています。

岡山では持続可能な開発のための教育(ESD)を国際・地域の両レベルで推進する取り組みについて2002年から、NGOが中心となって国際会議を毎年開催しております。(特活)岡山県国際団体協議会がNGOの中心となり主催してきました。2006年は岡山大学と協力して「おかやまESD国際会議2006」が開催されました。(報告書・講演概要集あり)

### 企画全般に関する問い合わせ：

岡山大学 大学院環境学研究科 Kominkanサミット実行委員会事務局 (担当：山本秀樹 准教授)

TEL/FAX：086-251-8925・8911

E-mail：unesco@cc.okayama-u.ac.jp

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/unesco/kominkan/index.html>